様式第３号（第８条関係）

会　議　録

<table>
<tr><td>会　　議　　名</td><td colspan="5">令和５年度（第１回）東松山市立市民病院運営委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開　催　日　時</td><td colspan="3" rowspan="2">令和５年１１月１６日（木）</td><td>開　会</td><td>１３時２５分</td></tr>
<tr><td>閉　会</td><td>１４時４５分</td></tr>
<tr><td>開　催　場　所</td><td colspan="5">東松山市立市民病院 南館３階 会議室</td></tr>
<tr><td>会　議　次　第</td><td colspan="5">１　開会
２　挨拶
３　議題
（１）令和４年度病院事業決算報告について
（２）市民病院経営強化プラン取組状況について
４　その他
５　閉会</td></tr>
<tr><td>公開・非公開の別</td><td colspan="2">公開</td><td colspan="2">傍 聴 者 数</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>非公開の理由
（非公開の場合）</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">委員出欠状況</td><td>委員長代理</td><td>須田　清美</td><td>出</td><td>委　員</td><td>池田　凡美</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委　員</td><td>伊関　友伸</td><td>欠</td><td>委　員</td><td>奥村　一彦</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委　員</td><td>小野寺　亘</td><td>出</td><td>委　員</td><td>真下　美紀</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委　員</td><td>森田　恵子</td><td>出</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">事　　務　　局</td><td colspan="3">事業管理者　杉山　聡</td><td colspan="3">病院総務課長　岡部　登</td></tr>
<tr><td colspan="3">院長　野村　恭一</td><td colspan="3">病院総務課副課長 武田 吉広</td></tr>
<tr><td colspan="3">看護部長　糸部　文子</td><td colspan="3">医事課副課長　川辺　雅史</td></tr>
<tr><td colspan="3">事務部長　野地　一彦</td><td colspan="3">病院総務課主任　比留間　徹</td></tr>
<tr><td colspan="3">事務部次長兼医事課長　関根　隆</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

次　　第	顛　　末
１　開　　会	事務局　野地事務部長
２　挨　　拶	杉山事業管理者
３　議　　題	東松山市立市民病院運営委員会条例第６条第２項の規定に基づき、委員会は成立となる。また、宮山委員長が退任されたため、同条例第５条第３項の規定に基づき、須田委員長代理が議長の職務を代理することとし、同条例第６条第１項の規定に基づき、須田委員長代理が議長となる。 （須田委員長代理） 議事に入る前に、事務局から確認事項等があればお願いします。 ○事務局からの確認事項等 ・会議録の署名委員について ・会議の公開の可否及び傍聴人の有無について （須田委員長代理） 署名委員については、小野寺委員と真下委員にお願いします。 会議の公開については、会議は原則公開され、本日の議題の中には非公開にすべき内容はないと思われますので、公開することとします。本日の会議に傍聴の希望はありますか。 （事務局：野地事務部長） 傍聴の希望はありませんでした。 （須田委員長代理） 議事に入ります。 議題（１）令和４年度病院事業決算報告について、事務局から説明をお願いします。 （事務局：岡部病院総務課課長）資料№１、№２に基づいて説明 （池田委員） 新型コロナ関係の補助金が減っている状況にも関わらず、経営状況は着実に改善されていると思います。内科医師の増員や病床利用率９０％超え、経常収支の黒字化など事業管理者や病院長の改革が

	成果として表れてきています。 （杉山事業管理者） 　野村病院長着任以前は、２名だった内科医師が８名へと増えました。現在は、循環器内科医師のリクルートを検討しています。 （森田委員） 　全体としては、良い決算内容であり、安心しています。ただ外科系の手術件数が減っているのは、何か理由があるのでしょうか。 （杉山事業管理者） 　眼科は、入院手術を外来手術へ移行した影響です。外科と脳神経外科の手術件数が年々減少傾向のため、対応策として今年度脳神経外科の常勤医師２名を増員しました。これにより、くも膜下出血クリッピング手術や頭部外傷に対応できるようになると考えています。 （真下委員） 　病院長着任の２年前から経営状況の改善が見られます。以前は、一般会計繰入金など補助金があっても、赤字であったことを考えると大変安心できる内容と思います。コロナ関連の補助金は、資料のどこに記載がありますか。 （事務局：岡部病院総務課長） 　東松山市病院事業決算値の推移（資料№２）の（２２）医業外収益のその他にコロナ関連の補助金は含まれます。 （真下委員） 　資料によるコロナ関連の補助金は、令和３年度に比べてかなり減っていますが、令和５年度も更に減る予定ですか。 （事務局：岡部病院総務課長） 　令和４年度と比較して約５億円減る予定です。 （真下委員） 　常勤医師が２０名とのことですが、診療科別内訳はどうなってい

	ますか。 （事務局：岡部病院総務課長） 　令和４年度末時点で、内科７名、外科２名、皮膚科１名、泌尿器科２名、整形外科２名、脳神経外科２名、眼科２名、耳鼻咽喉科１名、麻酔科１名となっています。 （真下委員） 　皮膚科の入院患者数が急に落ちていますが、何か原因はありますか。 （事務局：川辺医事課副課長） 　令和３年度と令和４年度に皮膚科医師の変更がありました。令和４年度入院患者数の減少につきましては、皮膚科医師が入院を伴う手術を行わなかったことによるものです。 （須田委員長代理） 　今後も医師の数、特に内科医師を増やしていく予定ですか。外科系の充実も図って欲しいと思います。 （杉山事業管理者） 　内科においては、循環器内科を増員したいと考えています。脳神経外科は３名、泌尿器と眼科２名の医師数を維持できるように体制を整えていく予定です。 （小野寺委員） 　内科の医師が増えると、入院患者数も増えるため、経営の好循環に繋がります。 （野村院長） 　内科の医師を更に増やしたいが、現在外来の診察ブースに空きがない状態です。専門分野に特化するなど、市民病院の役割を踏まえつつ、医師会病院と連携しながら必要なことを進めていきたいと考えています。 （須田委員長代理） 　患者の負担が少ないように、近隣医療機関への逆紹介などもお願

	いします。 （野村院長） 　現在、逆紹介を増やすよう、地域連携を推し進めています。今後も継続して行っていきます。 （須田委員長代理） 　続いて、 　議題（２）市民病院経営強化プラン取組状況について、事務局から説明をお願いします。 （事務局：関根事務部次長兼医事課長）資料№３に基づいて説明 （池田委員） 　二次救急の輪番日追加、脳血管疾患といった専門的な診療体制の充実、埼玉県災害時連携病院への申請、感染症病棟の改修など、保健所としては、こうした地域貢献に対して大変感謝しています。 （杉山事業管理者） 　二次救急の輪番日については、脳神経外科や整形外科といった外科系による水曜日の輪番日追加を検討しています。 （池田委員） 　未収金とは、どういったものですか。高額療養費制度があっても、支払いが困難な患者がいるということですか。 （事務局：関根事務部次長兼医事課長） 　そのとおりです。入院、外来で患者が支払えない診療費の未収分となります。こうした未収金に対しては、電話や郵送、あるいは臨宅徴収により支払いのお願いをしていますが、一定数支払い困難な患者がいらっしゃいます。 （池田委員） 　未収金は、年間いくら位発生しますか。 （事務局：関根事務部次長兼医事課長） 　約２００万から約３００万円発生しています。

	（真下委員） 　公立病院として地域医療に取り組んでいただいているのは、心強いと思います。土曜日の診療体制はどうなっていますか。 （事務局：野地事務部長） 　土曜日は、午前中のみ診療を行っております。患者数も少ないため、診療体制としては、平日と比較して手薄な状態と言えます。ただ、隔週診療であったり、土曜日診療自体を廃止してしまっている他医療機関もありますので、効率性の観点から今後当院においても検討の余地があると考えています。 （真下委員） 　土曜日の診療科については、どうなっていますか。 （事務局：野地事務部長） 　週にもよりますが、土曜日においてもほぼ全ての診療科が受診できる体制をとっています。 （須田委員長代理） 　医師の働き方改革との関係もありますので、無理のない範囲で対応してください。 （森田委員） 　３６床増床整備において看護師不足により、段階的に稼働するとのことですが、本来はあと何人位必要だと考えていますか。 （事務局：糸部看護部長） 　今年度８６名在籍していますが、この人数で外来も賄っています。入院の７対１の看護基準を運営するために、来年度に向けて２０名の募集を計画し、１３名の新規採用が決定しています。 （森田委員） 　大学にも近隣医療機関から看護師募集の要望が増えています。ホームページのリニューアルをするとのことですので、看護師募集にぜひ活用してください。未収金において、公立病院として入院保証金の導入は難しいものですか。

	（事務局：野地事務部長） 一般の民間病院では入院保証金を取るケースもありますが、公立病院では、経済的な問題を抱えた患者も多いため、医療を受けるハードルが高くなってしまうなどの理由から導入しないケースが多いです。 （小野寺委員） 経営形態の見直しにおいて、医師採用時に独自の給与体系を導入できるメリットや予算の弾力化はもちろん、負担金や補助金に影響がないなどの理由から公立病院の独立行政法人化は積極的に進めた方が良いと考えますがいかがでしょうか。 （杉山事業管理者） 独立行政法人化については、私の着任時より検討しています。公立病院は、職員定数の変更などの様々な判断時において常に議会に諮らないといけないため、早急な対応ができず、硬直化してしまう傾向が強いと感じています。 （小野寺委員） 施設・設備の最適化において、老朽化した施設との記載がありますが、本館は建設から何年経過していますか。 （杉山事業管理者） ３７年経過しています。 （小野寺委員） 老朽化した建物、駐車場や診療ブースの問題、急性期病床の増床など、建て替えのタイミングとしては、検討する時期だと考えます。建て替えには、多額の費用がかかりますが、施設の問題で医師が活躍できないのはもったいないと思います。 （杉山事業管理者） 南館を建設して８年目ですが、既に目一杯スペースを使用しており、手狭になってしまっています。本館は、一部水漏れが発生するなど配管も老朽化し、復旧工事にも限界があるため、早急に計画を立てて新病院建設を何とか実現したいと考えています。

	（奥村委員） 　地域包括ケアシステムへの参画として、地域医療連携室の打ち合わせ件数が１３７件とありますが、打ち合わせ内容と対象機関はどういったものでしょうか。 （事務局：糸部看護部長） 　内容としては、退院患者の支援関連、施設の空き状況の情報共有などが多く、対面訪問やリモートにより熊谷総合病院といった近隣医療機関や高齢者施設、訪問看護ステーションなどとの話し合いが行われました。 （奥村委員） 　在宅退院した後に、患者についてクリニック担当者やケアマネージャーと打ち合わせするケースもありましたか。 （事務局：糸部看護部長） 　ありました。ケアマネージャーや地域包括支援センターと連携することで、退院後の訪問を要望され、実施することもありました。 （奥村委員） 　在宅退院した患者が症状悪化により、再入院するケースもありましたか。 （野村院長） 　訪問診療は行っていますが、小規模のため再入院されることもあります。病診連携機能が十分に機能していないので、来年度に強化を図りたいと考えています。 （池田委員） 　東松山市の人口規模からすると、市民病院の維持は容易ではないと感じています。フリーアクセスでトップクラスの医療レベルを提供する割に収益構造が脆弱となってしまうのが現在の保険診療システムの環境ですが、何とか経営の安定化に努めていただきたいと考えています。また東松山医師会病院と協力して地域医療の実情にあった方向へ進んでいただければと思います。

	（杉山事業管理者） 　医師会病院とは、数回の話し合いの上、市民病院は急性期、医師会病院は回復期や慢性期といった役割分担を明確化し、実行しています。市民病院で入院期間が長期化した患者を医師会病院へ紹介する取り組みも行われており、良好な関係を築いています。 （須田委員長代理） 　市民のために今後もよろしくお願いします。
４　その他	（須田委員長代理） 　その他として、議題の他に事務局から何かありますか。 （事務局：野地事務部長） 　４床から６床へ増床した５階感染症病棟の改修が終了いたしました。ご希望の委員がいらっしゃれば、現地のご案内をいたしますのでお声がけをお願いします。 　今年度の委員会は、本日で終了となります。委員の任期が令和６年１月までとなっておりますので、次回更新につきましては個別にご相談させていただきますので、よろしくお願いいたします。
５　閉　　会	事務局　野地事務部長

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和５年１２月２７日　　署名委員　小野寺　亘

署名委員　真下　美紀